

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること

1. 地域ニーズを取り入れた活動をしています。

スクールの社会資源を利用して、クラブ児童以外の地域の児童を対象とした多種のプログラム（サイエンスの実験、アートクラブ、英検クラブ等）を設けて実施しています。地域との連携として、通学路の危険箇所の特定や、不審者が出現した際の近隣の見守りや地域の子どもたちの安全確保などを積極的に行っています。また、お迎えの際に利用児童以外の児童に対しての見守りや安全確保も行い、地域の防犯に努めています。

2. グローバル人材育成の基盤づくりに貢献しています。

現在、英語は世界共通言語と言えるコミュニケーションツールです。当施設は日本に住む子どもたちがグローバルな視点で、世界の人々とコミュニケーションがとれる人材作りのため、外国籍のスタッフと共に英語をベースとして過ごす環境を提供しています。

さらに取り組みが望まれるところ

1. 小学校とのさらなる連携に期待します。

市役所と定期報告会や視察はおこなっていますが、小学校とは定期連絡会はないので必要がある時に連絡を取り、クラブの児童を下校時に校門に迎え（車を使う）に行った際には先生と話をします。児童クラブは小学生なので学校との定期連絡は必要ですが、連携ルートがありません。今後地道に学校と接触を図りながら組織的な連携を構築するよう期待します。

2. 中・長期計画の策定と明文化が行えるよう、経営の基盤強化に期待します。

今後ますます重要な役割となる放課後児童クラブとして、将来に向けた目標と計画は大切なテーマです。現在、経営の安定化を優先課題として取り組んでいます。次のステップとして、中・長期計画作りに取り掛かれる状況となるよう期待します。

評価を受けて、受審事業者の取り組み

1. 小学校とのさらなる連携を図るよう取り組みます。

学校と接触を図りながら、小学校との連携ルートを構築するよう努めます。

2. 経営の基盤強化に取り組めます。

中長期の経営目標として、理念に基づいた運営体制の改善と人材の安定雇用、研修を通じた職員の資質向上を目指して取り組みます。

放課後児童クラブ版自己評価シート【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針を確立・周知している。	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
1 ① 理念、基本方針を明文化し周知を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	理念、基本方針を放課後児童クラブ内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
ホームページに記載の理念にある(「自信を持って英語を話せる人」「世界に通用する人」に育てる)は当放課後クラブの実施する使命と目標を読み取ることが出来る。また、基本方針は理念との整合性を取り、「私たちのミッション」として掲げ、スタッフの行動指針となっています。多国籍のスタッフに対してこの理念方針を分かりやすく説明し周知されています。ただし、会議や研修会において、これら理念や基本方針の周知状況を絶えず確認し、さらに周知を徹底することに期待します。		<input checked="" type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知を図っている。
		<input type="checkbox"/>	理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
2 ① 事業経営をとりまく環境と経営状況を的確に把握・分析している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
市川市教育委員会 生涯学習部 青少年育成課との連携を取り、社会福祉事業の動向についての情報入手を行っています。また、地域として市川駅前位置する特徴を踏まえ、状況の変化などの情報を把握し、放課後児童クラブとしての役割・活動の振り返りを行い、経営に反映しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域の特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3 ② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間で共有している。
現在、市川市の数少ない民設の放課後児童クラブとして定員間もなく、経営の安定化に取り組んでいます。経営状況は母体である株式会社KOGの代表と施設管理長で改善すべき課題について共有して把握しています。ただし、現状はスタッフとの改善点や課題についての共有が図れておらず、今後の課題として対応が望まれます。		<input type="checkbox"/>	経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
		<input type="checkbox"/>	経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組を進めている。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
4 ① 中・長期的なビジョンを明確にした計画を策定している。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
中・長期的な将来ビジョンが明文化されていませんが、施設管理長は経営の安定を優先的に、次のステップとして将来の目標を持っています。当施設には独自の特徴となる運営方針、「グローバル人材の育成のための英語教育を行う」との明確な施策があります。これを柱とした年間事業計画を着実に実施し、経営の安定を図り、それを基盤とした将来の目標から具体的に中・長期計画を策定し、明文化することに期待します。		<input type="checkbox"/>	中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
		<input type="checkbox"/>	中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5 ② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画を策定している。	c	<input type="checkbox"/>	単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容を具体的に示している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
同施設は一年ごとの委託更新となっているとの理由で中・長期計画を具体的に策定していませんが、経営責任者の持つ「ビジョン」をベースにスタッフ間で話し合い、単年度ごとに月ごとの行事計画を策定しています。今後は年度ごとの事業計画の確実な実行で将来につながる足固めを怠らず、持続可能な経営基盤作りを行うことに期待します。		<input type="checkbox"/>	単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
		<input type="checkbox"/>	単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6 ① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しを組織的にを行い、スタッフが理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画を、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	計画期間中において、事業計画の実施状況を、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握している。
小規模運営の特色を生かした、少数精鋭の運営が可能で、実践をしています。計画は現場の運営状況に立脚したもので、原則毎月のスタッフ会議において計画の評価を行い、実践状況や課題等を明確にする仕組みがあります。計画の見直し、変更は即座に行える体制となっているため、常に改善し実行することが出来ます。		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画を、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画を、職員に周知(会議や研修会における説明等)しており、理解を促すための取組を行っている。
7 ② 事業計画は、子どもや保護者等に周知し、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画の主な内容を、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
事業計画をはじめ各種伝達事項はデジタルツールを情報伝達手段として活用しており、周知徹底を図っています。保護者の利便性を考慮し、オンラインで実施する年2回の保護者会においても事業計画の内容についての説明を行っています。		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組を組織的・計画的に行っている。	評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
8 ① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組を組織的に、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	組織的にPDCAサイクルにもとづき放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの内容について組織的に評価(O:Check)を行う体制を整備している。
組織的には少人数で責任者とスタッフが一体となり、PDCAサイクルにもとづいた運営を行っています。今回の受審を初回として、今後は定期的に第三者評価を受審し、評価結果を踏まえ、さらに質の高い評価となる組織体制の構築を目指しています。		<input checked="" type="checkbox"/>	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価結果を分析・検討する場を、組織として位置づけ、実行している。
9 ② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	評価結果を分析した結果やそれにもとづき課題を文書化している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	職員間で課題の共有化を図っている。
評価結果はオープンにして、外国籍スタッフと日本人スタッフの間で自由な意見交換が行える環境を整えています。スマホの活用でタイムリーに全スタッフがすべての情報を共有できるため、課題に対して速やかな話し合いで対策を取り、改善後も状況の確認が共有できる仕組みとなっています。		<input checked="" type="checkbox"/>	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価結果にもとづき改善の取組を計画的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

#NAME?

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任を明確にしている。		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
10	① 運営主体は、自らの役割と責任をスタッフに対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。
運営主体は経営・管理に関しての方針を明確にし、ホームページに理念とミッションを明記しています。施設管理長はその役割と責任を明確にして活動していますが明文化されていない為、スタッフへの周知を図るための明文化に期待します。			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知を図っている。
			<input type="checkbox"/>	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化している。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
施設管理長が経営に関して法令遵守の観点から、放課後児童支援員認定研修、資質向上研修など様々な研修に参加しています。外国籍のスタッフが多数、施設管理長は日本の法令遵守について理解できるように分かりやすく説明するよう心がけて行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。
(2) 運営主体のリーダーシップを発揮している。		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
12	① 放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
施設管理長は日本人スタッフに加え、外国籍のスタッフとの会議を通して意見交換を行い、現状の把握と改善に取り組んでいます。組織はフラットな体制で課題に対しては施設管理長とスタッフがオープンに討議し、全員の合意の下で具体策を決定し、実施する仕組みとなっています。			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
施設管理長が経営母体から施設の経営を委任され、全権限を持ち、運営しているため、現場での業務改善が直ちに行える体制となっています。さらに、施設管理長は経営母体である株式会社KOG Total Solutionsとの連携を密にとり、短期・中期の経営に関する課題や問題点についても経営者の立場として対処することが出来ます。			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制を整備している。		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画を確立し、取組を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
運営のコアに英語によるコミュニケーション能力を高めるというミッションを掲げているため、これにマッチする人材の確保に努めています。放課後児童支援、福祉人材に関しては保育士資格者2名を有する他、児童発達支援管理責任者、管理栄養士などを配置して運営を行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)を明確に定め、職員等に周知している。
人事管理に関しては人事基準を定めており、これに基づき管理運営を行っています。スタッフの資格取得支援を行い、質の向上を図るほか職務成果、貢献度を評価し、昇給や処遇改善算手当の支給などに反映しています。また、半年に一度、施設管理長がスタッフと個別の面談を設け、働き方・要望などについての意見交換を行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input type="checkbox"/>	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
スタッフの就業状況はシステム上にすべての情報があり、的確に把握し、管理を行っています。施設内で施設管理長は外国籍スタッフと日々意見・情報交換、悩みへの相談を受ける環境を整えています。特に外国籍のスタッフは日本での働き方に文化風習の違いを感じ、戸惑いも生じます。施設管理長は主に外国籍スタッフで運営する施設として常にコミュニケーションを密に取り、このギャップを埋めながらワークバランスを常に配慮し、働きやすい職場づくりに努め、管理・運営を行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容をスタッフに周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。		
(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。		評価結果	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みを構築している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標を設定している。
スタッフ一人ひとりの目標設定は具体的に設定してはませんが、育成のため、外部研修への支援を積極的に行っています。今後の持続的で質の高い、安定的な経営維持のためにも国籍を問わず、人材育成を目的とした目標設定の導入に期待します。			<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限を明確にした適切なものとなっている。
			<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認を行っている。
			<input type="checkbox"/>	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画を策定し、教育・研修を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	組織が目指す放課後児童クラブを実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
スタッフへの専門資格を明示すると共に教育・研修についてスタッフ会議で話し合いを行い、教育・研修計画を策定しています。見直しはスタッフからの意見や状況判断で行っています。次年度計画は様々な意見・要望・実績を反映させて策定しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。

19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会を確保している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTを適切に行っている。
スタッフの研修は研修情報をスタッフに明示し、積極的な参加を促し、受講費などかかる費用は全額を負担しています。直近で受講した研修としては「放課後児童支援員認定研修」「資質向上研修」などがあります。また、市川市から届く、各種研修案内や情報はWEBリンクやPDFデータをLINEを利用し、スタッフ全員で共有しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	さまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるように配慮している。
(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成を適切に行っている。	評価結果		評価の着重点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職等の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	<input type="checkbox"/>	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルを整備している。
現在、実習生の受け入れを行っていません。放課後児童クラブの役割は今後ますます重要になります。将来を見据え、負担を軽減する方法で実習生の受け入れを計画することに期待します。			<input type="checkbox"/>	専門職種の特性に配慮した実習・育成プログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/>	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組を行っている。	評価結果	評価の着重点(該当する場合は□にチェック)		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ等を活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報等を適切に公開している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
運営への透明性を図るために情報公開はホームページを活用しています。また、第三者評価受審結果を千葉県WAM NETで公表する予定です。地域への情報公開に具体的な取り組みが十分とは言えない状況です。経営の安定を前提に将来的に人材の確保を行い、さらなる地域への情報発信を行える環境作りを期待します。			<input checked="" type="checkbox"/>	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任を明確にし、スタッフ等に周知している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任を明確にし、スタッフ等に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認している。
経営母体の顧問会計士と連携をとって経営・運営の適正化指導を受け透明性を確保しています。市川市教育委員会青少年育成課には毎年3月に経理等の報告を行っています。			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係を適切に確保している。	評価結果	評価の着重点(該当する場合は□にチェック)		
23	① 放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	様々な社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員(主任児童委員)等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携している。
地域との関わり方についての基本姿勢は「運営規程」に明記しています。地域交流として社会資源である図書館、男女参画センター、公民館等を活用し、メキシコ大使館のイベントに参加したり、専門学校、近隣の農家、パン屋さん等と交流し、年間行事に遠足を行うなど多様な社会資源を利用して活動をしています。			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
			<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	c	<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れについて、登録手続、必要時ボランティア保険の加入(または、加入していることの確認)、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目を記載したマニュアルを整備している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
ボランティアの受入れはしていません。地域の学校や大学等との連携が難しく、一般的な地元の掲示板等に告知することに留めています。			<input type="checkbox"/>	ボランティア受入れについて、登録手続、必要時ボランティア保険の加入(または、加入していることの確認)、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目を記載したマニュアルを整備している。
(2) 関係機関との連携を確保している。	評価結果	評価の着重点(該当する場合は□にチェック)		
25	① 放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化を図っている。
利用可能な社会資源情報についてはデータベースで管理しています。市役所と定期報告会や視察はおこなっていますが、小学校とは定期連絡会はないので必要がある時に連絡を取り、児童を下校時に学校に迎え(車を使う)に行った際には先生と話をします。保護者とは送迎時や保護者会で意見交換をして家庭環境の状況把握をおこなっています。			<input type="checkbox"/>	地域との関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携を図っている。
			<input type="checkbox"/>	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	評価結果	評価の着重点(該当する場合は□にチェック)		
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
主に情報は市役所の教育委員会の青少年育成課から入手しています。小学校とは定期連絡会はないので、送迎時や児童に関する必要がある都度連絡し担任の先生から情報を入手しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢を明示している。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
28	① 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
市川市から届く研修の案内で、研修や勉強会への参加が可能な者について積極的に参加しています。子どもや保護者の尊重や基本的な人権への配慮については運営規程に明示し、スタッフ間で定期的なコミュニケーションを図っています。サービスの向上のため保護者からアンケートをとってカリキュラムの新設・改善や備品の確保に役立てた事例があります。			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢を、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等の尊重や基本的な人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等の尊重や基本的な人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
29	② 子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等を整備し、職員への研修によりその理解を図っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスを実施している。
プライバシーの保護や個人情報の取り扱いについては、利用者の「申込契約書」及び「運営規程」に明記しています。保護者に共有する情報でも写真の共有を除いては、個人の特定ができないよう配慮しています。名前の記載については、名前(下の呼び名)で行うようし外部に出た場合でも名目が分からないよう工夫しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの子どもにとって、生活の場になさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)を適切に行っている。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
30	① 利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
ホームページにはスクールの活動の写真、費用、カリキュラム等必要な情報を載せて利用希望者に提供しています。見学は随時行っていて、見学者にはパンフレットや資料を用意し施設の運営方針、カリキュラムの種類、掛かる費用、送迎方法(車で校門迄迎えに行く)、個人情報保護、苦情の窓口等の説明を行っています。また体験希望者にはプログラムの体験利用も行っていきます。			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
全ての見学希望保護者に対し、個別に見学、体験入所、プログラムの体験利用を希望に応じて実施しています。また、放課後児童クラブでの過ごし方について図を用いた資料で1日のスケジュールを保護者に説明しています。利用の変更(時間、カリキュラム)については保護者の同意を契約書で得ています。保護者にはHOIC(HOIC)を通して事前に情報を発信して混乱の起きないよう努めています。卒園後の入所に際して最初の3日間を「ならし」の期間として無料で受け入れています。			<input checked="" type="checkbox"/>	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化し、適正な説明、運用を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。
32	③ 評価外		<input type="checkbox"/>	
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	
(3) 子どもや保護者等の満足の向上に努めている。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
33	① 子どもや保護者等の満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等の満足度に関する調査を定期的に行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会を、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行っている。
保護者とは日頃からコミュニケーションを取るよう心掛け、お迎え時や来所時には情報の交換を行っています。また、保護者の要望に応じて個々に場所を設けて個別面談を実施しています。保護者満足度を知るために昨年11月に一斉にアンケートを実施し運営の改善に努めています。			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。
(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制を確保している。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
34	① 苦情解決の仕組みを確立し、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物を掲示し、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。
苦情の対処については、「運営規程」、保護者「申込契約書」に明示し、「苦情・不満・意見・要望を解決するための仕組みの導入」(規程)に解決責任者、受付担当者の氏名を記載して仕組みを確立しています。苦情を受け付けると苦情(相談)対応記録に記入し(匿名ではない)保護者の苦情・要望に応じて改善に努めています。保護者満足度を知るために昨年11月に一斉にアンケートを実施し苦情や要望を出しやすい工夫をしています。			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組を行っている。
35	② 子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
児童と直接対話をし、保護者からの意見や情報交換を送迎時や保護者会その他の機会を通じ行っており、必要に応じて個別面談も実施しています。その際は保護者の求めに応じて面談者を指定することも出来ます。面談場所を用意し意見を聞きやすい環境を提供しています。			<input checked="" type="checkbox"/>	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	スタッフは、日々の福祉サービスの提供において、子どもや保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
36	③ 子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
子どもとは常に直接対話をし、保護者との意見交換や情報交換は送迎時や保護者会その他の機会を通じて行っています。保護者の満足度を知るために昨年11月に一斉にアンケートを実施し苦情や要望を出しやすい工夫をしています。保護者の要望に応じて個別面談も実施しています。その際は保護者は面談者を指定することが出来ます。面談場所を用意し意見を聞きやすい環境を提供しています。マニュアルは日本語版、英語版を用意しスタッフ間(外国籍スタッフも在籍)で実行するように努めています。			<input checked="" type="checkbox"/>	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組を行っている。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制を構築している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
安全管理や災害マニュアルを日本語版と英語版で用意し、スタッフ間で共有しています。また、定期的な避難訓練やケースレポートの実施などを通じて安全対策や手段の改善をおこなっています。事例として、防災訓練では担当者を変えながら訓練を繰り返すことで全スタッフが対応できるようになりました。			<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集を積極的にやっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や有効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
施設内で感染が発生した場合や予防、安全確保に関する情報を都度共有するよう努めています。入室した子どもに感染が疑われる場合は、別室に隔離するなどする対策を講じています。感染症等の外部研修は就業態の関係を欠かさないスタッフが順次行うこととしています。感染症(インフルエンザ)の対策としてタオルは子ども一人ひとりに個人用として預けています。			<input checked="" type="checkbox"/> 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 感染症の予防策を適切に講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応を適切に行っている。
			<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 災害時の対応体制を決めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。
安全対策マニュアル、防災マニュアルを用意し、定期的な避難訓練を実施しています。マニュアルには防災備品、避難場所、保護者への連絡・子どもの引渡し等詳細に明記しています。防災訓練は年2回(2月、5月)に実施して、その回毎に責任者を変え全スタッフが責任業務を経験しています。			<input checked="" type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法を決め、すべての職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法を決め、保護者等と共有している

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する育成支援の標準的な実施方法を確立している。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
40	① 育成支援について標準的な実施方法を文書化し育成支援を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法を適切に文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢を明示している。
女園に運営の方針を掲げて誰もが見ることが出来るようにしています。育成支援については、子どもの状況を保護者と連携をとって情報を交換し、スタッフ間ではその情報共有をしています。外国籍のスタッフもいるので英語版の手順書を作り周知を図っています。育成状況は、例えば英語学習では5段階評価で5つのクラスに分かれ成長を見ることが出来ます。			<input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施しているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法を組織で定めている。
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しを定期的に行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの個別の育成目標はありませんが、英語に関しては成長を夏休み明けでテストしてその実力にあったクラス分けをして評価をしています。その他の育成支援では、英検テスト、漢検テスト、アートクラブ、サイエンスクラブ等独自のプログラムを開発し取り組んでいます。
			<input checked="" type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容を必要に応じて反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
(2) 子どもに対する育成支援の計画を策定している。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
42	① 育成支援の計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画策定の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズを明示している。
育成支援については「放課後児童健全育成事業 運営規程」に明記してあり責任者は施設管理長になっています。スタッフが少人数(常勤者2名、非常勤者7名)の為、日常的に常勤者が中心となって決定していきます。また、スタッフと子どもは常に話し合いレッスンのカリキュラムを決めることが出来ます。例えば、通常のレッスンの時間でも学校の宿題を優先して見てあげる様な対応をしています。英語教育については子どもの能力表を作って英語での質問等テストをし評価につなげています。			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画どおり育成支援が行われていることを確認する仕組みを構築し、機能している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 障がいのある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極的かつ適切な育成支援の提供を行っている。
43	② 定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握を行うための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
育成支援計画は文書化していません。昨年11月に導入した連絡ツール「保育」学童版を使い児童の個別の状況を保護者とも連携しながら記録しています。今後、育成支援計画を作成していく予定です。			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容(ニーズ)等、育成支援の質の向上に関わる課題等を明確にしている。
(3) 育成支援実施の記録を適切に行っている。		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する育成支援の実施状況の記録を適切に行い、スタッフ間で共有している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 育成支援の計画にもとづく育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。
連絡ツール「保育」学童版を活用し、個別の児童の状況を日常的にはスタッフ間のグループラインで共有し、2ヶ月に1回実施するスタッフ会議においても情報を共有する仕組みがあります。			<input checked="" type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 組織における情報の流れを明確にし、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 事業所内で情報を共有する仕組みを整備している。
45	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法を規定している。
個人情報保護規程に関する研修は個別には実施していません。市川市主催の放課後児童支援員認定資格研修の内容に含まれているため、その研修を受講しています。個人情報の書類管理は責任者が担っています。スタッフ間で漏洩がないよう取り扱いに注意して取り組んでいます。児童が退所する時に個人情報に関する書類は返却または破棄しています。			<input checked="" type="checkbox"/> 記録管理の責任者を設置している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。

放課後児童クラブ版自己評価シート【内容評価基準】

A-1 育成支援

(1)子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A1	① 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 体調が悪いときなどに静養できるスペースを確保している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自習等の学習活動ができる環境を整えている。
判断した理由・特記事項等			
子どもが安心して過ごせるよう学習(ホームワーク)、休憩遊び(プレイルーム)、各種プログラムを実施するクラブ(サイエンス教室)など、全てに対応できるように複数の部屋を設けています。折り紙や塗り絵などいつでも自由に使えるよう準備し、ソフト剣やごっこ遊びなどできるように遊び道具なども整えています。			
(2)放課後児童クラブにおける育成支援		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A2	① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子や育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。
判断した理由・特記事項等			
保護者はアプリのギャラリーを通じて子どもの日々の様子を2〜3日に1回見ることができ、グループLINEで不定期ですが動画を見ることができ、長期休み時は特別カリキュラム・サマースクール(フーミングトリップやほぼ毎日行イベント)を設け、子どもが自ら進んで参加できるよう創意工夫をしています。			
A3	② 子どもの出席を把握し、適切に援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの出席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの出席について、当日の変更についても確認できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。
判断した理由・特記事項等			
管理システムアプリを通じて、毎日の出席状況や日常の様子の共有を職員間で行なっています。当日所在が確認できない児童に対して、学校と保護者双方に連絡し、所在確保に努めています。対策として、月の予定表や送迎表を親にしっかり確認してもらうことなどを重視しています。			
(3)子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A4	① 子ども自身が通いしを持って主体的に過ごせるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが集団の中で過ごす方について自分自身で考えられるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。
判断した理由・特記事項等			
月・水・木曜日はテキストを使った英語レッスン、火曜日は外遊び、水曜日はPCを使った自己学習、金曜日はアート工作などのスケジュールを時間単位で設けています。児童一人ひとりの個別のスケジュールは日によって迎え時間が異なるため、時間を調整しています。プログラムに参加できるように配慮しています。実際、全員の子どもがスケジュールに参加しています。			
A5	② 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 日常生活に必要な基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 健康や衛生に関すること(手洗いやうがい、衣服の着脱等)が身につくよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえ、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。
判断した理由・特記事項等			
学童ルームに入室後、手洗いの実施、トイレの使い方、持ち物の整理整頓を行い、集団生活の中で活動が次へと進むよう援助しています。また、後片付けのレクチャーなどの活動も分担、協力してできるよう援助しています。集団生活上のルールを子どもたちに理解してもらえようわかりやすいルール表(「DO」・「S」・「注意」)に子どもたちに掲示するなど工夫しています。			
A6	③ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達の状況、その時々の子の心身の状況に応じて、子ども自身が遊びを自由に選択できる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの来所時には、子どもが安心してできるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等の間でその情報を共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 静養や気分転換が必要なことに気づいた時に、適宜対応できるようにしている。
判断した理由・特記事項等			
入室時に子どもの話を聞いて、けがや熱がないかなどをチェックし、子ども一人ひとりの心身の状態を把握しています。これらの記録は児童票と健康チェック票をシステムで管理しています。職員全員が閲覧可能となっています。当日体調に異変やけががあった時は、スタッフ間でLINEで共有し、保護者へ即時連絡を取っています。			
A7	④ 子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの間でいじめが発生しないよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問題が起きたときには早期対応に努め、保護者や関係機関と連携を取りながら適切に対応するよう努めている。
判断した理由・特記事項等			
子ども達同士のけんかや事故などが起こらないよう規定以上の(子ども40人に4人のスタッフを配置)人員配置を行うなどして見守っています。それでも問題が起きた場合は、当事者の子ども同士話し合いを行い、必要に応じて双方の保護者も交えた面談を実施しています。			
A8	⑤ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 行事を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大きな内容を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
判断した理由・特記事項等			
行事を行う2か月前くらいから職員が大枠を決め、子ども同士意見を積極的に出し合い可能な限りその意見を取り入れて実行しています。			
(4)固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A9	① 障がいのある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 障がいのある子どもの利用機会の周知を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障がいのある子どもの受入れにあたっては、障がい特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 障がいのある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。
判断した理由・特記事項等			
障音のある子どもの発達支援に専門資格(児童発達支援管理責任者)を有するスタッフを配置しています。また放課後児童支援員の中に「障音に関する分野」における資質向上研修を受講したスタッフがいます。案内資料に障音のある子どもの受け入れ可能な文を記載しています。実際、保護者との面談を通じて、具体的な受け入れ方針を決めています。			
A10	② 障がいのある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	b	<input type="checkbox"/> 障がいのある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。 <input type="checkbox"/> 記録した内容を、放課後児童支援員等の間で共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 障がいのある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 学校を含む他機関との連携を図っている。
判断した理由・特記事項等			
障音のある子どもの発達支援に専門資格(児童発達支援管理責任者)を有するスタッフを配置しています。育成支援の内容はスタッフ間で共有し、保護者と随時連絡を取り必要な支援を提供しています。			
A11	③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別の支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。
判断した理由・特記事項等			

判断した理由・特記事項等	☑	放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。
特に配慮を必要とする子どもへの支援は、保護者との連携は管理システム上の連絡帳でのやり取りや毎日のお迎え時に対面でコミュニケーションを取ることで行なっています。他に学校との連携も先生方と直接コミュニケーションを取る方法で行なっています。警察や児童相談所などの関係機関とも連携を取る体制があります。	☑	児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ決められている。
	☑	要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。

(5) 適切なおやつや食事の提供		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
A12	① 放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	a	☑ 放課後児童クラブとしてのおよつ役割を考慮して、およつの提供時間や方法を工夫している。
判断した理由・特記事項等			☑ 子どもたちの状態等を考慮して、およつの内容を工夫している。
およつは子どもたちの要望を聞き、各種お菓子を用意し提供しています。下校時間が異なるため全員同じ時間におよつタイムは設定できないが、必ずおよつを楽しめるように工夫しています。夏休み中は共同で簡単な調理を体験する機会があります。			☑ 落ち着いた環境でおよつを楽しめるようにしている。
A13	② 食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)を防止するための対応を行っている。	a	☑ 食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。
判断した理由・特記事項等			☑ すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。
アレルギー児に対しては自宅からおよつを持参してもらうようにして対応します。アレルギー対応や食中毒に関する研修は、必須受講項目(放課後児童支援員研修)で受けています。スタッフの管理栄養士主導でアレルギーや食中毒に関する対応マニュアルを整備しています。外部の看護師指導のもとイベント使用レクチャーも受けています。外国籍スタッフ向けに英文での解説もあります。			☑ 食物アレルギーのある子どもへのおよつや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。
			☑ 食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。
			☑ 窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。
			☑ 食中毒防止のための点検項目を定めている。

(6) 安全と衛生の確保		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
A14	① 子どもの安全を確保する取組を行っている。	a	☑ 毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。
判断した理由・特記事項等			☑ 安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。
安全管理対策マニュアル(基本方針、日常の安全管理、事故発生時の対応)を用意しています。スタッフは午前中から開所準備(清掃、施設整備、整理整頓など)を行い当日のスケジュールの確認と備品の準備をしスムーズに運営できるようにしています。クラブ利用の子ども達の通う小学校は5校あり内2校は徒歩送迎、3校は車で送迎するなどを送迎表(子どものイニシャルとか名前の一部だけ表記)で管理し安全に取り組んでいます。			☑ 放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。
			☑ 子どもが来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。
			☑ 地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。
			☑ 子どもが主な行動範囲を中心とした地域の中で子どもの行動や環境を把握している。
			☑ 子どもが病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。
			☑ 事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。
A15	② 衛生管理に関する取組を適切に行っている。	a	☑ 施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。
判断した理由・特記事項等			☑ 衛生管理に関する点検を定期的に行っている。
施設整備の衛生管理に関して毎日チェックリストを設けて開所前後に清掃・点検を行っています。子ども達が手洗いの後、以前はペーパータオルを使っていたが、現在はタオルの持参を推奨しています。忘れた場合は貸出用のタオルを十分に用意しています。			☑ 子どもと共に日常の衛生管理に努めている。
			☑ 子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。
			☑ 放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。

A-2 保護者・学校との連携

(1) 保護者との連携		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
A16	① 保護者との協力関係を築いている。	a	☑ 子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
判断した理由・特記事項等			☑ 保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。
保護者会は年2回(5月と11月)に実施しています。出席率は約6割です。毎年12月に行うクリスマス会は、会場を男女共同参画センターにて保護者も参加してのバザーもああります。保護者から寄付品を募り、売上でおもちゃ購入に充てています。			☑ 保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。
			☑ 保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。
			☑ 宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。

(2) 学校との連携		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
A17	① 子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	a	☑ 子ども生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。
判断した理由・特記事項等			☑ 毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。
定期的に学校と情報交換する機会はありません。学校にもありますが、こちらから問い合わせをした場合最低限の情報しか得られません。しかし児童の所在の確認(校長が連れてきてくれた時もある)や短縮授業日程などについて、その都度学校に連絡し状況を把握するように努めています。以前、近隣の学校から社会探究の授業で訪問を受けたことがあります。			☑ 子どもが来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。
			☑ 子どもに関する情報を提供したり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めていた。
			☑ 子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。
			☑ 学校との連携に関する担当者を置いている。

A-3 子どもの権利擁護

(1) 子どもの権利擁護		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック)
A18	① 子どもの権利擁護に関する取組を徹底している。	a	☑ 職場倫理を具体的に明文化している。
判断した理由・特記事項等			☑ 放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。
子どもの権利擁護に関する倫理規程と虐待防止マニュアルを整備し、外国籍スタッフも含めた全員で理解しています。子どもが意見を述べる機会(食べたいおやつ、取り入れてほしいおもちゃや本、カリキュラム、長期休み中の遠足やアクティビティ、クリスマスイベントなど)を設けるよう、スタッフ同士でコミュニケーションをとっています。			☑ 職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。
			☑ 職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。
			☑ 権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。
			☑ 子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。